

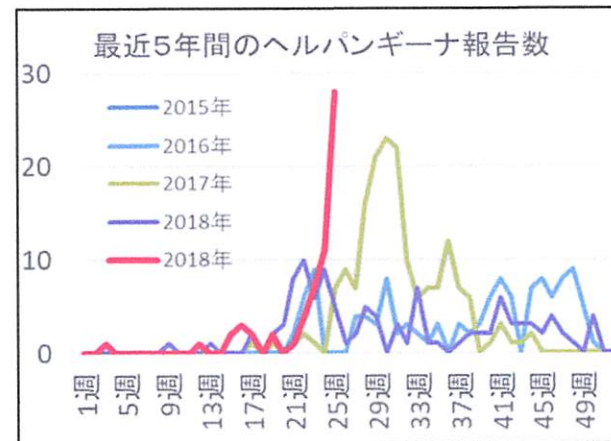
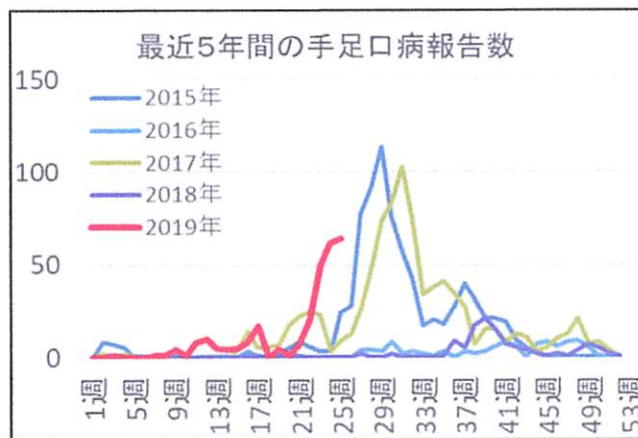
麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	12
ムンプス(おたふくかぜ)	1
百日咳	
溶連菌感染症	18
手足口病	64
ヘルパンギーナ	28
伝染性紅斑	3
感染性胃腸炎	43
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	3
伝染性膿痂疹(とびひ)	6
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	5
RSウイルス感染症	
マイコプラズマ感染症	
ヒトメタニューモウイルス	
インフルエンザ(臨床診断含む)	
インフルエンザA	
インフルエンザB	

手足口病など夏かぜの患者が増えてきました。

水痘は、市内小学校1年(7例)、別の小学校2年(1例)、3年(1例)、市内幼稚園の兄弟例2例、7か月の在宅児でした。小学校1年はクラス内感染で、多くはワクチン接種済で軽症でした。ワクチン2回接種済でも完全に感染を防ぐことは困難ですが、症状は軽く、手足口病との鑑別に苦慮する例もありました。今後は、水痘・帯状疱疹ウイルス抗原キットが必要となると思われます。しかし、ワクチン未接種の小中学生では典型的な症状で臨床的に診断は可能です。やはり、水痘ワクチン未接種で患していない方は、ぜひワクチンを接種して下さい。

手足口病は多くの施設で流行しています。クラス単位での流行のようです。兄弟より感染の小学生もみかけます。また、発熱と軽度の咽頭発赤・頭痛のいわゆる病名のつかない、夏かぜと思われる症例もみかけます。

今年の手足口病の原因ウイルスの多くはコクサッキーウイルスA6(CA6)で、高熱が出て発疹の分布も典型的ではありません。また、ヘルパンギーナの原因ウイルスでもあります。下のグラフの様に、手足口病・ヘルパンギーナともに急激に報告が増えています。同じ原因ウイルスによる、診断時期や・症状の違いかと思われます。特別な治療はなく対症療法のみです。脱水があれば輸液が必要となります。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> 変更になりました。)